

伊香賀俊治氏

慶應義塾大学理工学部
システムデザイン工学科 教授



講演タイトル

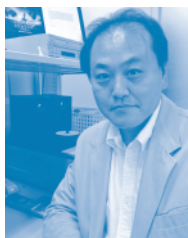
幼児から高齢者の血圧・睡眠・活動量計測に基づく
住環境デザイン

伊香賀俊治氏プロフィール:

1959年東京都生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。(株)日建設計 環境計画室長、東京大学助教授などを経て、2006年より現職。専門は建築・都市環境工学。主な研究課題は、健康長寿を実現する住まいとコミュニティの創造(社会実証研究)、低炭素性・健康維持増進性・知的生産性・震災時の生活業務継続性のコベネフィットに関する研究など。著書に、『CASBEE入門』、『建築と知的生産性』、『健康維持増進住宅のすすめ』、『熱中症の現状と予防』、『LCCM住宅の設計手法』、『最高の環境建築をつくる方法』など。

井上恭介氏

NHKエンタープライズ
エグゼクティブ・プロデューサー



講演タイトル

「里山資本主義」から「里海資本論」へ

井上恭介氏プロフィール:

1964年生まれ。1987年東京大学法学部卒業、NHK入局。報道局・大型企画開発センター・広島局などを経て、現在、NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー、ディレクター、プロデューサーとして、一貫して報道番組の制作に従事。主な制作番組にNHKスペシャル『オ願ヒ オ知らせ下サイ〜ヒロシマ・あの日の伝言〜』(集英社新書から『ヒロシマ 被爆の伝言』として書籍化)『マネー資本主義』(新潮文庫から同名書籍化)『里海 SATOUMI 瀬戸内海』(角川新書「里海資本論」として書籍化)などがある。広島で中国地方向けに放映した番組をまとめた角川新書『里山資本主義』は40万部を超えるベストセラーに。12月にはプレジデント社から新著『牛肉資本主義〜牛丼が食べられなくなる日』が出版された。

🌀 開催体制

組織委員会

【組織委員長】 細田 奈麻絵 (物質・材料研究機構 / 東京大学)
【組織副委員長】 新井 剛 (芝浦工業大学)

実行委員会

【実行委員長】 木下 裕介 (東京大学)
【実行副委員長】 所 千晴 (早稲田大学)
庄野 厚 (東京理科大学)



🌀 会期

2016(平成28)年12月7日(水)

🌀 会場

東京理科大学森戸記念館 (東京都新宿区神楽坂4-2-2)
<http://www.tus.ac.jp/facility/morito/>
JR 総武線、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線、
都営大江戸線「飯田橋」駅下車、徒歩6分



森戸記念館 (東京理科大学ウェブサイトより)

🌀 参加費 (予定)

事前受付: 10,000円 (11月16日(水)まで)
一般受付: 12,000円 (11月17日(木)以降)
学生: 5,000円
懇親会費: 4,000円 (学生の講演発表者は無料)

🌀 主要日程

講演申込〆切: 2016年 8月 12日 (金)
予稿送付〆切: 2016年 9月 30日 (金)

エコデザイン・プロダクツ & サービスシンポジウム 2016

EcoDesign Products & Service (EcoDePS) Symposium 2016



2016年12月7日(水)
東京理科大学森戸記念館

Call for Papers

<http://ecodenet.com/EcoDePS2016/>

連絡先

エコデザインプロダクツ&サービスシンポジウム事務局
(イトレイ (株))
〒113-0033
東京都文京区本郷 6丁目 24-9 グラーサ本郷東大前 1002号
Tel: 03-5840-8141
E-mail: secretariat@ecodenet.com
Website: <http://ecodenet.com/EcoDePS2016/>

主催	エコデザイン学会連合 (幹事団体:特定非営利活動法人エコデザイン推進機構)
協賛企業	日本高純度化学 株式会社 富士通 株式会社
協賛学協会 (予定)	エコプロダクツ大賞推進協議会/SEMI Japan/ 一般社団法人 産業環境管理協会/ 日本地熱学会/セミコンダクタポータル/ 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会(NEDIA)
後援	株式会社 日刊工業新聞社 株式会社 産業タイムズ社(電子デバイス産業新聞) 日本環境共生学会

① シンポジウム開催概要

エコデザインシンポジウムは、高い意識をもった企業の技術者・環境担当者が、企業の枠を越えて集まり、大学研究機関の研究者や業界団体とも協力して1999年に始まりました。2000年にはこれに呼応して、学会の枠を越えたネットワーク、エコデザイン学会連合、およびその事務局組織として NPOエコデザイン推進機構が設立され、以来、8回のエコデザイン国際シンポジウム、7回の国内シンポジウムを開催し、海外との連携、情報発信を通じて、エコデザインコンセプトの普及に努めてまいりました。昨今の厳しい経済情勢にも関わらず、2013年には韓国で共同開催されるなどエコデザイン国際会議の規模は拡大しつつあり、アジア最大のエコデザイン国際会議となっています。

国内では従来、「エコデザインジャパンシンポジウム」を開催してまいりましたが、都市鉱山のような資源の有効活用に加えて、東日本大震災を契機とした省エネルギーやスマートグリッドのような社会のエコデザイン、さらには、サービス化による地域経済の活性化なども重要な課題になりつつあります。このようなエコデザインに対する社会ニーズの広がりに対応するべく、2014年からは「エコデザイン・プロダクト&サービスシンポジウム」へと改称し、製品、サービス、社会システムなどを対象としたエコデザインに関する学術研究から、実用化技術・最新製品開発、ビジネスへの適用事例までを幅広く議論しています。2014年7月に開催した EcoDePS 2014では、産業界とアカデミアの両方から約100名の参加者を集め、活発な議論が行われました。

EcoDePS 2016では、産業界とアカデミアの有機的な連携、産業界の実用化に向けた取り組みの発表、あるいは、若手研究者の成果発表等の場を提供することを目的とします。皆様の奮ってのご発表・ご参加を心よりお待ちしております。



EcoDePS 2014の様子

② 講演募集テーマ

(A) 製品・サービス設計

製品・サービスシステム (PSS)、情報通信技術 (ICT)、スマートシティ・スマートコミュニティ、農業のサービス化

(B) 社会のエコデザイン・リテラシー

循環型社会、低炭素社会、まちづくり、ライフスタイル、水環境・水循環、交通、環境教育

(C) 製品ライフサイクル設計、ビジネス戦略、政策提言

環境配慮設計、都市鉱山、レアメタル、循環経済、資源効率、エコビジネス

(D) ライフサイクルマネジメント

メンテナンス、3R、製品・部品リユース、リサイクル技術、リマニュファクチャリング

(E) サステナビリティ評価

ライフサイクルアセスメント (LCA)、マテリアルフロー分析 (MFA)、カーボンフットプリント

(F) サステイナブルマニュファクチャリング

サプライチェーンマネジメント、プロセス設計、材料・製造プロセス、自然から学ぶ持続型ものづくり / バイオミメティクス、バイオプラスチック、インダストリー 4.0、ものづくり革命、精密測定技術

(G) エネルギーシステムのエコデザイン

再生可能エネルギー (太陽光、水力、風力、バイオマス、地熱等)、スマートグリッド、新電力、省エネルギー



③ 講演募集

発表形式は、口頭発表とポスター発表の2種類です。

口頭発表の発表時間は、1件あたり15~20分程度 (質疑応答を含む) を予定しています。

言語は日本語または英語とします。

④ 講演申込方法

講演を申し込まれる方は、以下の必要事項をご記入の上、2016年8月12日 (金)までに事務局 (secretariat@ecodenet.com) 宛に電子メールでお申し込みください。すべての講演に対して予稿を提出いただきます。

※必要事項

(1) 講演タイトル

(2) 著者名と所属先 (共著者も含む)

(3) 著者代表者の連絡先 (氏名、住所、メールアドレス、電話)

(4) 講演カテゴリー (講演募集テーマ (A) ~ (G) より、ひとつお選びください)

(5) 発表形式 (口頭発表、ポスター発表、どちらでもよい、両方とも)

(6) 講演の要旨 (和文200字以内、もしくは、英文400字以内)

なお、講演申込書フォームはウェブサイトからダウンロードできます。
<http://ecodenet.com/EcoDePS2016/>